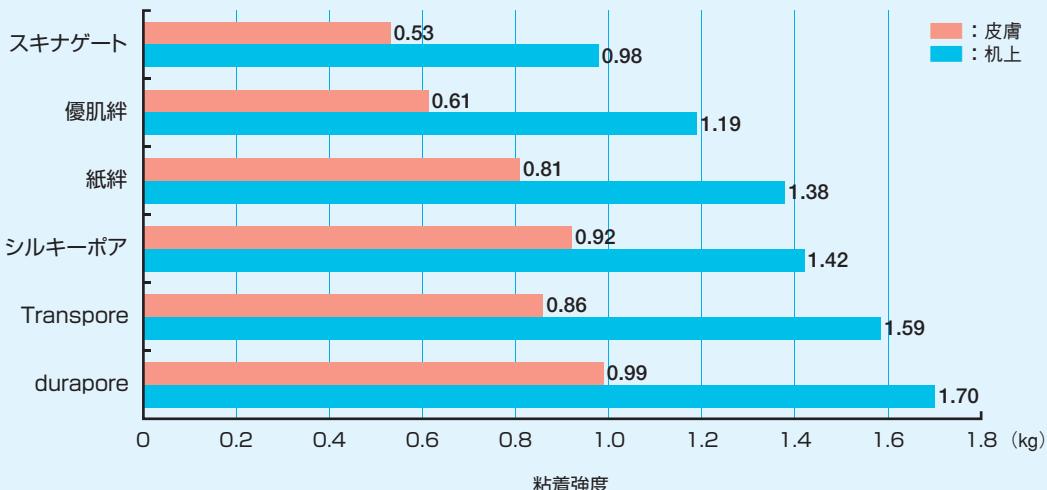
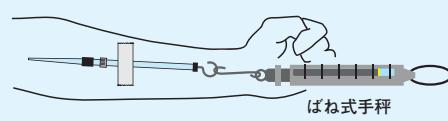


テープ粘着強度測定

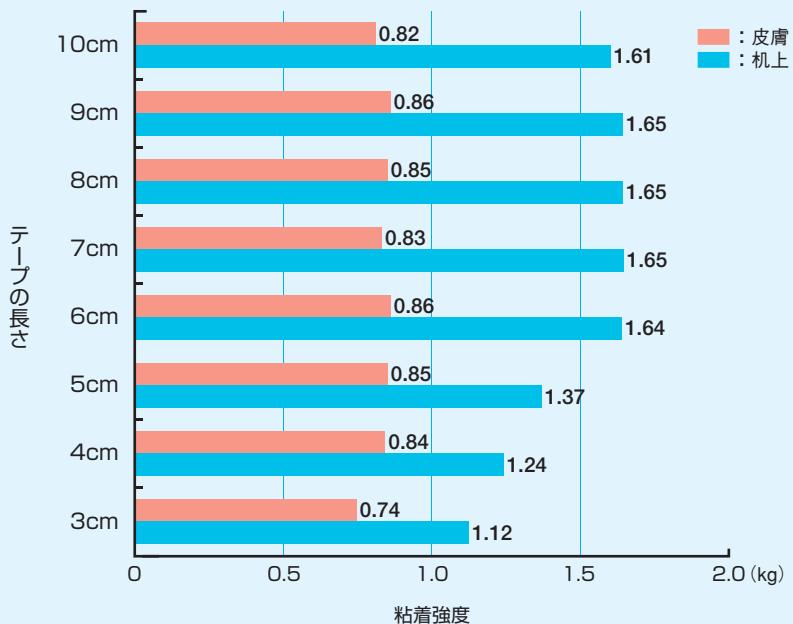
各種テープの 粘着強度

幅2.5cm、長さ7.5cmの6種類のテープ(スキナゲート、優肌絆、紙絆、シルキーポア、Transpore、durapore)を机上、皮膚上で血液回路(3.5×5.5mm、長さ50cm)中央部に貼付し、ばね式手秤で水平方向に牽引し、回路の脱落またはテープがはがれた時点の数値を粘着強度として測定した。



テープの長さと 粘着強度の変化

幅2.5cmのTransporeテープを用い、長さを3~10cmまで1cm単位で変化させ、机上、皮膚上で血液回路(3.5×5.5mm、長さ50cm)中央部に貼付し、ばね式手秤で水平方向に牽引し、回路の脱落またはテープがはがれた時点の数値を粘着強度として測定した。



回路固定位置 による 粘着強度変化

ルアロック直後、ルアロックより5、10、15、20cm後に幅2.5cm、長さ7.5cmのTransporeテープを貼付し、粘着強度を机上で測定した。



直後	5cm	10cm	15cm	20cm
1.89kg	1.59kg	1.59kg	1.59kg	1.59kg

テープ幅と 粘着強度の変化

長さ7.5cmの5種類のテープ(スキナゲート、優肌絆、紙絆、シルキーポア、Transpore)を用い、幅を1.25cmと2.5~20cmまで2.5cmずつ広げ、粘着強度を測定した。

